

(一財) 日本ヘルスケア協会から

発行：日本ヘルスケア協会 事務局

今回は6月8日の前回定時記者会見以降の動きについてご報告いたします。

1. 野菜で健康推進部会

(1) ムック本『野菜は7色で食べよう』が、いよいよ完成
野菜部会が設立当初（平成28年11月）から活動目標に
しています通り、「7色の野菜を食べて健康を増進しま
しょう」、「7色の色を取り入れることを念頭に買物し、
調理をしましょう」の主張を、生活者・消費者の皆様
に直接伝え、なぜ7色を取り入れると良いのかを鮮やかな
カラーページによって詳しく説明したムック本『野菜は
7色で食べよう』がいよいよ完成し、7月5日（月）の
週から出回っています。

「野菜と健康」、「野菜の機能性表示」、「野菜独特の7色
の機能性成分、赤の野菜・緑の野菜・紫の野菜・黒の
野菜・白の野菜・黄の野菜・橙の野菜」、特別座談会、
大澤俊彦先生（農学博士）・阪下千恵さん（料理家）イン
タビュー、参考資料を含めA4判・64頁。定価1430円

(2) 野菜・果物のやさしいイメージ・キャラクター“ダブル
王子（仮称）”はデザイナー・森井ユカ氏の手によって、
立体造形が完成し、10通りのポーズが考案されています。
今後、手続きを経て、LINEスタンプや着ぐるみ制作等
への展開が検討されています。

(3) 2025年大阪・関西万博との取り組みは、3月末に万博協会に提案した「共創チャレンジ」
の申請書が万博協会のホームページに掲載され、応募自治体との間の折衝が始まっています。

(4) サンドボックス実証実験は順調に進捗し、12社の13店舗まで表示が進み、同時に来店客に
対する意識・意向調査アンケート票が集まっています。

2. JAHl 活動発表会（WEB）のコンテンツ収録が進んでいます。

今秋9月6日（月）～12日（日）にWEB開催が予定されている2021年JAHl活動発表会の冒
頭を飾る基調講演「新型コロナウイルス感染症との対峙～感染予防と経済活動を両立させ地
域医療を守る～」の収録が、厚労省・アドバイザリーボード構成員を務められる東邦大学医
学部微生物・感染症学講座の館田一博教授により、7月7日午後、厚労省会議のご多忙なス
ケジュールを縫って、JAHl 虎ノ門事務所にて行われました。今後、①在宅感染症予防部会 i.
おうちマップ、ii. 家庭の感染と予防ガイドブック、②在宅介護推進部会「動画で伝える介
護用品」、③健康まちづくり部会「健康をキイコンセプトとしたまちづくり」、④野菜で健康
推進部会 i. 部会の活動、ii. 野菜・果物の店頭POP表示実験～内閣官房・サンドボックス実
証、⑤ヘルスケア職能研究会「オーラル・フレイル」、⑥健康経営推進部会「対談・健康経
営の普及と海外展望」、⑦感染予防技術部会「コロナ禍における感染対策製品の現状と課題」、
⑧生き生きライフ（フレイル対策）部会「介護予防を目的とする部会の活動」、⑨ペットケ
ア部会「ペットとともに幸せに」、⑩昭和女子大学寄附講座「ヘルスケアビジネスマネジメ
ント」等のコンテンツの収録が行われます。また、この他にフィットセラピー部会も参加を表明
しています。

3. その他

この度、経産省の2025年国際博覧会統括調整官に第4代の井上学氏が就任され、7月12日、
JAHl 今西会長の表敬訪問が実現しました。

知られざる野菜の健康効果！

Health Brain

野菜は7色で食べよう

The colours tell us the wellness

入門編

7色野菜の魅力がたっぷり！
野菜の旬や栄養素の知識を知ろう！



野菜の色は健康の色！
フィットケミカルであなたも健やか生活

一般財団法人 日本ヘルスケア協会 野菜で健康推進部会 監修